第15回ＪＡＢＡ九州地区クラブ野球選手権大会開催要項

１．主　　催　　公益財団法人日本野球連盟・日本野球連盟九州地区連盟、毎日新聞社
２．主　　管　　ＪＡＢＡ大分県野球連盟
３．後　　援　　大分市、スポーツニッポン新聞社、毎日新聞大分支局、大分合同新聞
　　ＮＨＫ大分放送局、ＯＢＳ大分放送、TOS テレビ大分
　　ＯＡＢ大分朝日放送
４．協　　賛　　ミズノ株式会社、
５．期　　日　　２０２０年８月１日（土）～２日（日）　２日間
６．会　　場　　別大興産スタジアム
７．代表チーム　　８チーム（内訳：各県１チーム×６県、福岡県×２チーム）
　　福 岡 県（２）　：苅田ビクトリーズ、REX パワーズ
　　佐 賀 県（１）　：佐賀魂
　　大 分 県（１）　：ＢＡＮ　ＢＡＳＥＢＡＬＬ　ＣＬＵＢ
　　熊 本 県（１）　：九州工科自動車専門学校
　　宮 崎 県（１）　：宮崎福祉医療カレッジ
　　鹿児島県（１）　：鹿児島ドリームウェーブ
　　沖 縄 県（１）　：ビッグ開発ベースボールクラブ
８．入 場 料　　無　料
９．組み合わせ　　大会運営委員会にて決定
10．試 合 方 法　　トーナメント方式で行う。
11．大会規約

<前提規則>

2020 年度公認野球規則、アマチュア内規及び社会人野球内規等に則って行う。

<大会出場資格・出場承諾書>

（１）大会出場資格：日本野球連盟登録規程に則り選手登録期間（１月１日～８月 31 日）末日までに、また一次予選開始日の１０日前までに加盟登録を完了した加盟クラブチーム及び会社登録の専修学校、並びに競技者登録を完了した競技者に出場資格を与える。

（２）出場承諾書：役員１０名以内、選手２０名以上・４０名以内をＪＡＢＡ新システムよりエントリーにて完了とする。

<選手登録>

本大会の選手登録は２０名以上４０名以内とする。

ベンチには選手１５名以上２５名以内（試合ごとに変更可能)、監督・コーチ・マネージャーの内５名及びチーム代表者（登録された者)、通訳、トレーナー、マスコットの入場を認める。(注）選手が１５名未満の場合は不戦敗とする。

<コールドゲーム>

本大会のコールドゲームは、日没・降雨の場合は６回半または７回以降。

得点差の場合は6回半または7回以降7点差以上。
降雨やその他の理由により試合続行不可能な場合は、6回半または7回を終了していなければノーゲームとし、終了し得点差のある場合はコールドゲームとする。
上記は全試合に適用する。

<サスペンデッドゲーム>

試合が成立し（今大会は6回半または7回)、同点で降雨やその他の理由により試合続行が不　可能な場合はサスペンデッドゲームを適用し、翌日の第一試合で行う。その場合はトリプルゲームもある。

<オーダーの交換・攻守の決定>

第一試合のチームは試合開始時刻の６０分前に代表者は本部備え付けのオーダー用紙に必要事項を記入のうえ本部へ提出し、次試合のチームは前試合の5回終了時に同様に記入し本部へ提出する。その際、担当審判員立会いのもとで、拳をもって攻守を決定する。

<試合前シートノック>

試合前のシートノックは7分間とし、時間のない時はこれを短縮、または省略し直ちに試合を開始する。

〔延長に関わる特別規則〕

９回を終了し、両チームの得点が等しい場合は、１０回より「タイブレーク」を適用する。
タイブレークは全試合に適用する。
※特別ルール「タイブレーク」とは

・上記に定められた回の攻撃を完了し両チームの得点が等しい時、以降の回の攻撃は、無死走者一、二塁の状態から行うこととする。継続打順とする。
・この場合の走者は、前項による打者の前の打順の者が１塁走者、１塁走者の前の打順の者が２塁走者、そして２塁走者の前の打順の者が３塁走者となる。
・この場合、代打および代走は認められる。

<大会日程の変更等>

降雨やその他の理由によりゲーム消化が不可能な場合には、それに伴うその後の日程及び試合順序などは全て大会委員で協議し、大会委員長が決定する。

<その他>

５回終了及び試合終了後には両チームにてグランド整備を行う。

<審判団>

審判ライセンス制度の導入に伴い、一般社団法人全日本野球協会アマチュア球則委員会が認定した国際審判員、１級審判員、２級審判員で、大分県野球審判協会員で構成する。
熱中症予防などの観点から、試合途中で審判員が交代することがある。

12. 閉会式は簡略化して実施する。
13. 表彰内容

①団体賞

・優勝チーム＝賞状・九州地区連盟会長杯／準優勝チーム＝賞状

②個人賞

・最高殊勲選手賞　毎日新聞社賞

・敢 闘 選 手 賞　スポーツニッポン新聞社賞

・首 位 打 者 賞　九州地区連盟会長賞

（３試合９打席７打数以上、決勝進出チームより）

14. 試 合 時 間

８月１日①8:３０②１１：００③１３：３０④１６：００

８月２日①9：００②１１：３０③１４：００

15. 出場選手数　大会登録選手の中から、役員６名・選手２５名以内を決め、毎試合ごとに抹消選手に線を引き大会本部に２部提出する。

16. 大会登録選手　代表チームは、７月 22 日（水）までに大会登録選手および役員を「出場承諾書」に記載、３部作成し、１部は所属地区連盟を通じて九州連盟へ提出、１部は直接大分県連盟へ提出（ＦＡＸ可）、１部はチーム控えとして責任者が所持する。トレーナー・通訳がベンチ入りするチームは試合当日の「メンバー交換用紙」に記載する。（出場承諾書には記載しない）

17. 使　用　球　日本野球連盟公認球

18. 注 意 事 項

（１）ベンチには出場承諾書に登録した競技者および役員以外は入れない。

（２）第１試合の出場チームは、開始時間の１時間前にグランドに入れる。

（３）シートノックは７分間。但し、大会運営上中止することもある。

（４）メンバーの交換第１試合の場合は、開始１時間前、第２試合以降は前試合５回終了時に、大会本部にて行う。

（５）開会式のセレモニーは行わず、第１日第１試合に入る。

（６）ユニフォーム着用時の喫煙を禁止する。

19. 問い合わせ

(公財)日本野球連盟　事務局

〒100-0005　東京都千代田区丸の内 1-7-12　サピアタワー内

TEL:03-3213-6776／FAX:03-3201-0707／E-mail: baseball@jaba.or.jp

・九州地区連盟

北九州市小倉北区砂津 1-7-19-1003

九州地区連盟事務局　・近藤勇美（080-8469-8390）

TEL093-511-1119／FAX093-541-8239　／E-mail: kondo-i@mainichi.co.jp

・大分県野球連盟

〒870-0992　大分市大字西ノ洲一番地　日本製鐵（株）大分製鐵所

ＪＡＢＡ大分県連事務局・岩野雄二（090-5380-3512）

TEL097-583-3121／FAX097-583-3121／ E-mail: iwanoke-927@oct-net.ne.jp

【新型コロナウイルス感染拡大防止対策】

・ＪＡＢＡ公式戦ガイドライン（６月 22 日発布）を順守すること。ただし感染拡大状況によって、同ガイドラインおよび開催地自治体などの方針に変更が生じた場合は、それに従うこととする。
・大会役員、関係者、チームは、特に下記の点を順守すること。

【球場に入る際の感染予防策】

〔１〕チーム関係者

① **「健康チェックシート表（チーム用）」（チームで用意）**を試合当日大会本部に提出する。ただし、起床直後及び出発前に検温を行い、３７．５度以上あった者は球場への入場を禁止する。また、同チェックシートの質問３項目のいずれかに「有」とチェックがあった者の球場への入場の可否については、大会主催者がチーム責任者と協議して判断する。

② 関係者受付（入口）でアルコール消毒液による手指消毒を行う。

③ マスク着用とする。

〔２〕大会関係者

①関係者受付（入口）で検温を行い、３７．５度以上あった者は球場への入場を禁止する。また、**「健康チェックシート表（大会関係者）」**に必要事項を記載し、同チェックシートの質問 3 項目のいずれかに「有」とチェックがあった者については、大会主催者が当事者に内容を確認のうえ、球場への入場可否を判断する。

②アルコール消毒、マスク着用は、上記〔１〕と同様とする。

〔３〕観　　客

①スタンドへの出入りは球場正面玄関内の階段に限定する。

②出場チームはあらかじめ、来場者を把握して名簿を作成。事前に大会本部に提出する。

③**玄関内受付**で検温を行い、３７．５度以上あった場合は入場をお断りする。

④球場入口でアルコール消毒液による手指消毒を行う。

⑤マスク着用とする。以上の項目は当日のチーム把握外の来場者にも適用する。

⑥入口と出口を区分する等、観客同士の接触を極力避けるよう動線を工夫する。

⑦ベンチ入り以外の控え選手は、受付の検温と消毒作業、試合後のスタンド・通路の消毒に携わることとする。

【チーム関係者の感染予防策】

監督、コーチは新型コロナウイルス感染防止対策を常に念頭に置きながら選手を指導することとする。

（１）球場または、宿泊施設への移動

①第三者との濃厚接触を回避するため、公共交通機関を利用する場合は、混み合う時間帯をなるべく避けるように注意する。

②移動中は、常時マスクを着用する。

（２）宿泊する場合

①起床直後と出発前の検温を行う。

② 宿泊は、1人部屋且つ同じフロアに宿泊することが望ましい。
③食事は、ビュッフェスタイルを避け、隣同士との距離を空ける。
④ミーティングを行う場合は、隣同士との距離を空ける。
⑤不要な外出は行わず、外出時にはマスクを着用する。
⑥外部との接触（面会）は極力避ける。

（3）試合前

①選手控室では、チーム全体でのミーティング、喫食等、長時間の滞在を避ける。
②対戦チーム並びに大会関係者等との接触は極力避ける。
③アルコール消毒液をダッグアウト、選手控室に配置し、適宜消毒を行う。
④ウォーミングアップ時のマスク着用は必須としない。

（4）試合中　　後記【試合について】に記載する。

（5）試合終了後のチームのダッグアウト入れ替えについて

① チームは、大会主催者の指示を受けてから、グラウンドやダッグアウト入りする。次チームの待機場所は、大会主催者の指示に従う。
② 前試合チームとの接触を避ける。

※使用したダッグアウト、チーム控え室の消毒は、試合前後に各チームが責任もって行うこと。

【観客の感染予防策】

（1）観客の座席は極力2m以上（最低1m）離すこととする。ただし、同居する家族はこの限りではない。また、観客席で大声をだすこと、太鼓等の鳴り物を使うこと、社歌・応援歌の合唱、及びエールを送ること等を禁止する。

（2）試合開始前に観客席、手すり等共用部分の消毒を行う。ただし、第2試合以降の観客席については空席のみ消毒する。

（3）球場内のトイレにもアルコール消毒液を用意し、手洗いの励行を喚起する。

（4）以上の感染予防策を、ベンチ入りしない控え選手が手伝う。大会本部の指示に従うこと。

【試合について】

試合開始及び試合終了時、ホームベースをはさんで2m以上の間隔をあけて両チーム向き合って整列し、挨拶を行うこととする。なお、相手チームとの握手等は行わない。

（1）審判員

①球審＝マスクの着用、または球審用マスクシールドを装着する。
②塁審＝マスクの着用は必須としない。
③熱中症の予防には、十分に注意する。

（2）チーム関係者

① ダッグアウト内では選手同士の間隔の確保に努める。大会主催者がダッグアウト内での十分な間隔の確保が困難と判断した場合にはダッグアウト外の場所を指示し、待機させることとする。
② 出場している選手以外の控え選手及び監督・コーチ等のスタッフ（ベースコーチを除く）は、マスク着用とする。

③ 素手でのハイタッチ、握手及びメガホンの使用等を禁止する。
④ 試合中、唾を吐く行為、手を舐める行為は禁止する。
⑤ 試合前やイニング間の円陣は一定の間隔を保つ。
⑥ 投手交代等でマウンドに集まる場合、できるだけ選手、監督（コーチを含む）との間隔をとり、可能な限り接触を避ける。
⑦ スポーツドリンク等の回し飲みは禁止する。
⑧ ファンとの接触（握手、サイン等）は禁止する。
⑨ 取材を受ける場合は大会主催者の指示に従い２ｍ以上の距離を保つ。**他、記載以外の事項についても主催者・大会本部ならびに行政機関の指示には従うこと。**

消毒液・体温計の配置

※一・三塁側のスタンド入り口は施錠のうえ封鎖
※三塁ベンチ側奥の会議室を審判控え室②とする

客への方針転換、あるいは大会中止が開催当日でもあり得ることを徹底してください。